

1学期末考査 日本史B 問題

I、次の文を読み、下の問に答えよ。

701(大宝元)年、《 》が完成し、律令制度による政治のしくみが整った。中央には、二官八省一台五衛府とよばれる政府機関が置かれ、[1]の首脳である左大臣・右大臣などが中心となって政治を運営していた。①地方には、現在の都道府県に当たる国がおかれ、中央から官人が[2]として派遣された。国の下には、郡・里がおかれ、かつての[3]ら地方豪族や有力農民が郡司・里長として任命された。

官人は、②位階をあたえられ、それに応じた官職に任じられ、位階・官職に応じて給与があたえられた。とくに五位以上の官人は[4]身分を形成、③蔭位の制などで手厚く優遇された。

農民たちは、戸籍に登録され、6歳以上の男女に一定の広さの[5]をあたえ、死後、回収するというしくみをつくった。このしくみを背景に、政府は農民たちに、租、調・庸、(a)雑徭、さらに(b)運脚や(c)公出拳などの負担を課した。さらに、一定の割合で兵士として徴発される④兵役もあった。

このような重い負担、虫害などで飢饉のなか、⑤農民たちは厳しい生活に追い込まれ、自らの土地をすてる[6]などが相次いだ。こうしたなか、⑥722年、723年と次々と新しい政策をうちだし、743年の⑦墾田永年私財法では⑧律令制の原則と矛盾するような命令を出した。

<設問>

問1 文中の《 》に入れるべき適語を記せ。

問2 文中の[]に入れるべき適語を選び、記号で記せ。

(ア)太政官 (イ)神祇官 (ウ)貴族 (エ)豪族 (オ)国造 (カ)国司 (キ)口分田 (ク)墾田(ケ)浮浪 (コ)一揆

問3 文中の波線部(a)～(c)を説明した文を下から選び、それぞれ記号で記せ。

- (ア)政府に納める税を都まで運ぶ義務。成年男子に課せられた。
- (イ)国家が春に稲を貸し付け、秋の収穫時に高い利息とともに徴収する制度。しだいに税と同様のものとなっていった。
- (ウ)絹・布・糸や各地の特産物を中央政府におさめるもの。
- (エ)田地などの収穫から3%程度の稲をおさめるもので、おもに諸国において貯蔵された。
- (オ)年60日を限度に、地方で強制労働をさせられること。水利・土木工事や国衙の雑用などにたずさわった。

問4 文中の下線部①から⑨にかかわる下記の設問に答えよ。

- ①律令制の地方官司で「遠の朝廷」ともよばれ、九州の行政や外交・海辺防備を任務とした役所の名を記せ。
- ②このようなルールをどのようにいうのか、解答欄の指示に従って記せ。
- ③蔭位の制について、解答欄の指示に従って簡潔に説明せよ。
- ④兵役を課された兵士で、九州防衛のためおかれた兵士をなんとというか、ひらがな4字で記せ。
- ⑤こうした厳しい農民生活を歌った山上憶良の歌の名を記せ。
- ⑥この時期、打ち出された政策を2つ選び、記号で記せ。

- (ア)田地を開墾したものに、その土地の土地の永久的な私有を認める法律を作った。
- (イ)貴族・寺院・地方豪族が未開発地を囲い込んで田地を私有することを積極的に奨励した。
- (ウ)田地の拡大をめざし百万町歩開墾計画をたてた。
- (エ)田地を開墾したものにたいし、一定期間の墾田の保有を認める法律を作った。

⑦墾田永年私財法について記した以下の文で、誤りを含むものを選び、記号で記せ。

(ア)すでにある用水を用いて田地を開墾したものには一代、新たに用水を掘って田地を開墾したものには三代にわたって土地を私有することが出来るという法律である。

- (イ)この法をきっかけに、貴族・寺院・地方豪族は周辺農民や浮浪民をもちいて積極的な墾田開発にとりくんだ。
- (ウ)この法をきっかけに、有力者などは広大な私有地を獲得、墾田地系荘園(初期荘園)とよばれるものを形成していった。

⑧墾田永年私財法と矛盾すると考えられる律令制の基本原則とは何か、解答欄の漢字を補え。

Ⅱ、文中の[]に入れるべき適語を語群からえらび記号で記せ。また下線部について設問に答えよ。

律令政治の基礎をつくった藤原不比等の死後、政権の中心となったのは天皇の一族[1]である。これにたいし、藤原氏の四兄弟(四子)は兄妹の[2]を皇后につけようとして[1]を反乱の疑いで自殺に追い込み、政権を握った。しかしこの四兄弟が疫病で相次いで死亡すると、政権は皇后の異父兄の[3]や①遣唐使で中国にわたった吉備真備らに移った。しかし、九州での反乱や疫病・凶作により、②社会は動揺の度合いを深めた。

その後、急速に力を伸ばしたのが[4]であった。かれは[3]を引退に追い込むと、758年には淳仁天皇を即位させ、独裁的な権限を手にした。しかし764年、[5]上皇と対立し反乱をおこしたが敗死した。その後、上皇は称徳天皇として再び天皇となり、その寵愛を受けた[6]が力を伸ばしたが、天皇の死とともに没落した。

(ア)孝謙 (イ)道鏡 (ウ)元明 (エ)光明子 (オ)橘諸兄 (カ)長屋王 (キ)藤原広嗣 (ク)藤原仲麻呂

<設問>

①遣唐使について記した以下の文について、誤りを含むものを1つ選び、記号で記せ。

(ア)最初の遣唐使は、630年に派遣された犬上御田歆である。

(イ)当初、遣唐使は東シナ海を横断する南路を用いたが、8世紀、新羅との関係が改善すると安全な北路を用いた。

(ウ)唐の僧侶鑑真是、何度も渡航に失敗して盲目になりながらも遣唐使にともなわれて来日、戒律を伝えた。

(エ)遣唐使は、平安時代の894年、菅原道真の建白に基づいて廃止された。

②こうした事態を受け、当時の天皇がこうした恐怖から逃れるためにたびたびおこなったことを記せ。

Ⅲ、次の文を読み、下の問に答えよ。

称徳天皇の死後、天皇となった[1]天皇は、政治再建政策につとめた。その子、桓武天皇は、784年平城京から<A>に遷都したが藤原種継が暗殺されると794年、平安京に再遷都し、①律令制の立て直しを強力に押し進めた。

他方、②東北地方でも戦いを続け、朝廷の支配領域を拡大していった。

810年[2]天皇は、平城太上天皇の変にさいし a) 蔵人頭を設け、藤原北家の[3]をこの地位に就けた。これをきっかけに、その子孫が繁栄することになる。なお、蔵人頭や b) 檢非違使など律令に規定されていない役職を「令外官」という。また律令の不備を補完する法令などをあつめたなども整備された。

その後、藤原北家は、842年の (甲) 承和の変で、優位を確立、858年には臣下ではじめて摂政となった。さらに866年の (乙) 応天門の変で他氏を排斥した。さらに藤原氏の支持によって即位した光孝天皇は彼を c) 関白の地位につけた。彼は宇多天皇の即位に際し、阿衡の紛議をおこし、屈服させた。その後、この天皇は親政をおこない、学者<C>を重く用いたが、つづく天皇の時に藤原氏の策謀によって失脚させられた。

10世紀の前半は、[4]・村上天皇が親政をおこない、のちに「弘仁貞観の治」とたたえられた。さまざまな律令体制の立て直しがはかられたが、結局失敗に終わった。そして969年に[5]の変を経て摂関家の勢力は不動のものとなった。

そして摂関家内部の争いは、10世紀末の藤原[6]の時にさまり、30年にわたり朝廷で権勢をふるった。さらに、このあとを継いだ③藤原頼道は、3天皇50年摂政・関白をつとめた。

<説明>

問1、文中の<>に適語を入れよ。

問2、文中の[]に入れるべき適語を下の語群から選び、記号を記せ。

(ア)嵯峨 (イ)醍醐 (ウ)道長 (エ)光仁 (オ)安和 (カ)広嗣 (キ)宇多 (ク)基経 (ケ)良房 (コ)冬嗣

問3、文中の波線の語句について説明した文を選び、記号で記せ。

(ア)平安京内の警察や裁判などにあたる役職

(イ)天皇の命令をすみやかに太政官組織に伝えるためにおかれた秘書官的な役職

(ウ)天皇成人後、天皇の後見役として政治を補佐する役職。

(エ)天皇が女性であったり、幼少であったりした場合、天皇の政務を代行する役職。

問4、文中の二重下線の事件について説明した文を選び、記号で記せ。

- (ア) 伴善男がおこした放火事件をきっかけに、伴氏や紀氏を排斥した事件
- (イ) 左大臣の源高明が左遷された事件
- (ウ) 自分に与えられた任命上の地位への不満から、仕事をボイコットした事件。
- (エ) 反乱を企てたとして三筆の一人としても有名な橘逸勢らを排斥した事件

問5、文中の下線にかかわる以下の設問にこたえよ。

①桓武天皇が政策について誤りを含むものを1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 堪解由使をおき国司の交代の事務引継を厳しくした。
- (イ) 軍団制を廃止し、郡司の子弟を健児として採用、地方の治安維持に当たさせた。
- (ウ) 班田の実施サークルを、六十年ごととすることにした。

②(1)征夷大將軍として東北に派遣された征夷大將軍の名を記せ。

(2)789年以降、東北で活躍したが、この人物に帰順した蝦夷の首領の名をカタカナで記せ。

③藤原頼通が宇治に立てた寺院の名を記せ。

IV、仏教についてかかれた以下の文を読んで、下記の問いの答えよ。

古墳時代に伝えられた仏教は、6世紀末から7世紀初めの〈A〉推古朝に、[1]らの保護によって急速な発展を遂げた。その後、大化改新や壬申の乱などを経た〈B〉7世紀後半の天武・持統朝には律令形成期を反映した清新な文化が栄えた。

奈良時代になると①律令国家体制が完成したという時代を背景に、②盛唐の影響を強く受けた〈A〉華やかな文化が栄え、③仏教の力で国家を安定させるという考えから④仏教が厚く信仰された。急速に発展した重視された。このような風潮を背景に政治へ介入した僧侶も現れる一方、広く民間への布教や社会事業に活躍した[2]も現れた。

平安時代という新しい時代の到来と、[3]や⑤空海らが切り開いた⑥密教などの新しい仏教は、仏の世界に秩序をしめす絵[4]など〈D〉新たな文化を生み出すことになる。

(設問)

問1、文中の〈A〉～〈D〉について、解答欄の表を完成させよ。

- (1)それぞれの文化の名を漢字で記せ。
- (2)各文化についてかわりのある下記の文化事象や文化遺産を、〈A〉～〈D〉に分類し、表中に記せ。

(ア)万葉集の完成 (イ)高松塚古墳壁画 (ウ)一木造の技法 (エ)アルカイックスマイルと杏仁型の目
--

(3)それぞれの文化に関係した写真を、それぞれの文化〈A〉～〈D〉に分類し、その記号を表中に記せ。



(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)

問2、文中の[]に入れるべき適語を記せ。

(ア)行基 (イ)親鸞 (ウ)日蓮 (エ)最澄 (オ)玄昉 (カ)厩戸王 (キ)早良親王

問3、文中の下線部①～ について、設問に答えよ。

①律令国家の完成ということにかかわって、以下の問いに答えよ。

(1)この時期、天皇の支配を正当化する目的で編纂が続けられてきた歴史書が完成した。舎人親王が中心となって編纂し、中国の史書にならい、漢文・編年体で記した最古の官撰史書の名を記せ

(2)713年、政府が諸国に地誌・産物・伝説などをまとめて提出させた書物の名をいえ。

②(1)こうした影響が強く見られる宝物が多く保存される当時の天皇の遺品を集めた倉庫の名を書きなさい。

(2)この時期、数回の失敗により視力を失いながらも日本に渡り、戒壇を伝えた唐の僧侶の名を記せ。

(3)この時期、唐と並んで活発な国交関係をもっていた中国東北部にあった国の名を漢字で記せ。

③このように仏教の法力によって国家安泰を図るという思想を何というか。漢字四字で記せ。

④奈良時代の仏教について記した以下の文で誤りを含むものを1つ選び、記号で答えよ。

(ア)寺院は国家の保護下に置かれ、僧侶らは、国のための法会と教義研究が仕事とされた。

(イ)南都六宗という宗派が生まれ、それぞれは宗派の発展のため、他の宗派と激しく対立した。

(ウ)この時代の文化遺産の多くは、興福寺や東大寺などに多く見られる。

(エ)許可を得ずに僧侶になったり、山林にこもって修行するといった僧侶も見られるようになっていった。

⑤空海について記した以下の文で、誤りを含むものを1つ選び、記号で記せ。

(ア)日本風の書道にすぐれ、三筆の一人とされている。

(イ)高野山に金剛峰寺を建てて真言宗を開くと共に、教王護国寺をあたえられ根本道場とした。

(ウ)綜芸種智院を創設、庶民に対しても教育の門戸を開いた。

⑥(1)この時期の仏教の特色は密教の流行にある。密教についてただしく説明したものを1つ記せ。

(ア)法華経に正しい仏教の教えがすべて記されているという考え

(イ)加持祈祷といった呪法によって仏の世界に接することができるという考え。

(ウ)釈迦の教えを經典によって学び、修行して悟りを得ることができるという考え。

(エ)仏教がすたれてしまった時代において、阿弥陀にすがることが唯一の救いの道であるという考え。

(オ)火をじっと見つめて仏の名を唱えたり、踊ることによって仏の世界との一体化を図ろうとする考え

(2)この時期、日本仏教は日本の伝統的な信仰との結合をすすめていった。このようなことを何というか。漢字4字で答えよ。

<自由レポート・時間に余裕のあるもののみ取り組む事>

ビデオ「ひらがな革命」の内容を、解答欄の行数程度で簡単にまとめなさい。